

福岡県教育委員会では、児童生徒に国語、算数・数学における基礎基本を含む活用力(基礎的・基本的な知識・技能及び思考力、判断力、表現力等)を育むとともに、地域間の学力向上の取組の差を解消することを目的として、平成25年度から小学校5年生～中学校3年生向けの国語、算数・数学の教材集を作成・配布しました。各学校においては、教材集を授業等で繰り返し活用し、取組の改善が図られてきました。

また、平成28年度からは、学力向上に係る検証改善サイクルを小学校中学年から一層計画的に推進するために、小学校4年生向けの教材集を新たに作成してきました。

この度、学習指導要領(平成29年告示)の全面実施を受けて、教材集の改訂を行いました。

各学校では、授業の中だけでなく、朝の学習の時間や家庭学習等における補充・発展問題としても活用していただいているところですが、更に、各問題の特質に応じて、先生方の授業づくりや校内研修の際の参考資料としても活用され、基礎基本を含む活用力の向上に役立てていただくことをお願いします。

令和6年3月

福岡県教育委員会

# 小学校

# 国語

# 四

基礎基本を含む活用力を育成する教材集

追補版

令和六年三月改訂

## 目次

1	1 単位時間程度で活用する教材(大問)	
1	1 役わりを考えて、よりよい話し合いをしよう。 (話すこと・聞くこと) . . . . .	45
2	2 調べたことや経験をもちに、説明する文章を書こう。 (書くこと) . . . . .	47
3	3 文章の要点や細かい点に注意しながら読もう。 (読むこと) . . . . .	49
4	4 物語を読んで考えたことを話し合おう。 (読むこと) . . . . .	51
<b>大問1～4の出題の趣旨、正答</b>		
53～56		
2	2 短い時間で活用する教材(小問)	
1	1 相手が知りたいことに合わせて、分かりやすく話そう。 (話すこと・聞くこと) . . . . .	57
2	2 さまざまな意見をもとに、お知らせを書こう。 (書くこと) . . . . .	58
3	3 ずかんなどを使って、知りたいことを調べよう。 (読むこと) . . . . .	59
4	4 物語を読んで、登場人物の気持ちを想いよう。 (読むこと) . . . . .	60
5	5 故事成語の意味を調べて、正しく使おう。 (我が国の言語文化に関する事項) . . . . .	61
6	6 言葉の使い方に気をつけて、正しい文をつくらう。 (言葉の特徴や使い方に関する事項) . . . . .	62

第四学年【めあて】役わりを考えて、よりよい話し合いをしよう。

( ) (組) ( ) (番 名前) ( )

Ⅰ 松山まつやまさんの学級では、自分たちの言葉の使い方を見直すために、意見を出し合って話し合うことにしました。次の文章は、松山さんが司会しかいをつとめた【話し合いの様子の一部】です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。「」、「。」は字数に数えます。

【話し合いの様子の一部】

司会

わたしたちのまわりには、外来語がいらいごがたくさんあります。

外来語を使うことで、より短い言葉で伝えることもできますが、中には、意味が分かりにくい外来語もあります。

そこで、「分かりにくい外来語でも使うべきか、使うべきではないか」について、代表の三人に考えを発表してもらいます。自分の意見とその理由を発表してください。

田中

わたしは、分かりにくい外来語を使うべきではないと思います。

これらを使うと言いたいことが伝わらないことがあります。数日前の父との会話がそうでした。わたしは、 A 、ようやく父の言いたいことが分かりました。

北川

このような会話では、うまく伝わりません。

ぼくも、分かりにくい外来語を使うべきではないと思います。なぜなら、これらの言葉でこまることがあるからです。先日、ぼくはおじさんから「このおかしを家族全員でシェアしてね」と言われましたが、「シェア」の意味が分からず、どうすればいいのかなやんでしまいました。とてもこまりました。

司会

①「シェア」とはどのような意味ですか。

北川 「シェア」は「分かち合う」という意味です。おじさんは、「このおかしを家族全員で食べてね」と言いたかったのです。

小池

わたしは、分かりにくい外来語でも使うべきだと思います。このような外来語を使うことで、新しい道具や考え方などに早くなじめます。

司会

②新しい道具や考え方などには、どのようなものがありますか。

小池

たとえば、スマートフォンやパソコンがあります。これらの道具を使いこなすためには、「インターネット」や「ホームページ」などの外来語を知っている必要があります。

〜(話し合いが続く)〜

問1 【話し合いの様子の一部】の

A には、田中さんがお

父さんとの会話で言ったことが入ります。次の【田中さんとお父さんの会話】を読んで、 A の中に入る言葉として、もつともふさわしいものを、次のアからエまでの中から一つえらんで、その記号を書きましょう。

【田中さんとお父さんの会話】

お父さん 勉強を続けるにはモチベーションが大切だ。  
 田中さん 「モチベーション」は「楽しさ」という意味でいいの。  
 お父さん ちょっとちがうな。「こういうことをできるよにな  
 りたいから、がんばるぞ」みたいな気持ちのことだよ。  
 田中さん それは「やる気」のことかしら。  
 お父さん そうだね。「やる気」を「モチベーション」と言うよ。

- ア 自分が体験したことをくわしく話して
- イ 話が話題からそれていたので話題をもとにもどして
- ウ 他人から聞いた話を自分の言葉で伝えて
- エ 言いかえになりそうな言葉を何度か言って

問2 【話し合いの様子の一部】の——部①と——部②は、それぞ  
 れどのようなねらいがありますか。そのねらいとしてもつとも  
 ふさわしいものを、次のアからエまでの中から一つずつえらん  
 で、その記号を書きましよう。

- ア 聞きのがしたことをもう一度聞く。
- イ 意見について具体的な例をたずねる。
- ウ 自分の考えの正しさをたしかめる。
- エ むずかしい言葉の説明をもとめる。

①	②
□	□

問3 司会は、【話し合いの様子の一部】の三人の考えを整理して、  
 次の【まとめ】のように、それぞれの発言をまとめました。【ま  
 とめ】の□に入る言葉を、〈やくそく〉に合わせて書  
 きましよう。

【まとめ】

田中さんと北川さんは、分かりにくい外来語を使うべきではな  
 いという意見です。  
 一方、小池さんは、分かりにくい外来語でも使うべきだとい  
 う意見です。外来語を使うことで、新しい道具や考え方などに早  
 くなじめるという理由をあげています。

- 〈やくそく〉
- 【まとめ】の□のように、【話し合いの様子の一部】から  
 言葉や文を取り上げて書くこと。
- 取り上げた言葉や文をもとに、田中さんと北川さんが、それぞ  
 れどのような理由をあげているかが分かるように書くこと。
- 五十文字から六十文字で書くこと。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

第四学年「めあて」「調べたことや経験をもとに、説明する文章を書こう。」

( ) (組) ( ) (番 名前) ( )

2 中田さんのクラスでは、「べん当の日」に向けて、はんごとにおすすりめ料理の作り方を発表することになりました。次は、中田さんたちが協力して書いた「じゃがいものチーズ焼き」の【説明の下書き】です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。「、」や「。」は字数に数えます。

【説明の下書き】

「じゃがいものチーズ焼き」  
わたしたちは、おすすりめ料理として「じゃがいものチーズ焼き」をしようかいたします。この料理の特ちょうは、短い時間でおいしく作ることができるということです。みなさんも、ぜひチャレンジしてみてください。

用意するもの

- ・じゃがいも (小さいもの一こ 大きいものなら半分)
- ・ 피자용スライスチーズ 二まい
- ・ バター 塩 こしょう

作り方

- 1 皮をむいたじゃがいもを、四つか五つに切る。
  - 2 じゃがいもをゆでる。
  - 3 フライパンにバターを入れて熱する。
  - 4 バターがとけたら、ゆでたじゃがいもを入れ、その上にスライスチーズをのせる。
  - 5 強火で三分ほど焼く。
  - 6 焼き上がったら、塩とこしょうで味付けをしてできあがり。
- わたしたちがこの「じゃがいものチーズ焼き」を「べん当の日」のおかずのメニューとしておすすりめするのは、二つの理由があります。一つ目の理由は、作り方がかん単なので、わたしたち小学生にもチャレンジしやすいということです。二つ目の理由は、

この点でも、作ってから時間がたって食べるべん当のおかずにはぴったりです。

問1 【説明の下書き】の 部分は、中田さんが次の のように書いたものを、同じはんの高木さんからの助言をもらって書き直したものです。

わたしたちは、おすすりめ料理として「じゃがいものチーズ焼き」をしようかいたします。この料理の特ちょうは、短い時間でおいしく作れます。みなさんも、ぜひチャレンジしてみてください。

- 高木さんの助言はどのようなものだったと考えられますか。あとのアからエまでの中から一つえらんで、その記号を書きましよう。
- ア 分かりやすくなるよう具体例を出したほうがよい。
  - イ 主語とじゅつ語がうまく組み合わさるようになったほうがよい。
  - ウ 長すぎる文を二つの文に分けて書いたほうがよい。
  - エ 読む人によびかけるような終わり方の文を入れたほうがよい。

問2 中田さんたちが【説明の下書き】の 部を書いた理由として、もつともふさわしいものを、次のアからエまでの中から一つえらんで、その記号を書きましよう。

- ア これから伝えようとする内ようを読む人に明らかにするため。
- イ 問いかけることで読む人のきょう味を引き出すため。
- ウ 自分の体験をのべることで内ように説得力を持たせるため。
- エ これまでのべてきた内ようを読む人に分かりやすく整理するため。

問3 中田さんたちは、それぞれ家庭で「じゃがいものチーズ焼き」

を作ってみて、結果をほう告し合い【説明の下書き】の書き直した方がよいところについて話し合いました。次は、そのときの【話し合いの一部】です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【話し合いの一部】

高木さん ぼくは少し失敗してしまった。ゆで方が足りなかったみたい。

中田さん じゃがいもをはしでさしてみても、あなが開くまでゆでると、ちょうどよい固さにゆでることができたよ。中火で七分くらいかな。

高木さん そうか。ぼくは中火で三分くらいしかゆでなかったから、なんだか固すぎたんだね。

小川さん じゃあ、そのことを「作り方」のところに書き加えたほうがいいね。

中田さんたちは、【説明の下書き】の【作り方】の2を次のように書き加えました。

〔A〕と〔B〕に入る言葉を、【話し合いの一部】から、Aは五字、Bは十四字で書きぬきましょう。

2 じゃがいもを〔A〕ほどゆでる。(〔B〕まで)

問4 中田さんたちは、【説明の下書き】の□の部分を書くと

きに、みんなが「じゃがいものチーズ焼き」を作ってみた感想をまとめた、次の【メモ】を利用しました。□に入る言葉を、あとの〈やくそく〉に合わせて書きましょう。

【メモ】

「じゃがいものチーズ焼き」を作ってみた感想  
1 かん単たんに作れるので、小学生の初はじめての料理にぴったりだ。  
2 この料理をもとに、たとえばベーコンも加えるなど、好みに合わせて工夫ができる。  
3 作りたてがおいしいのはもちろんだが、冷めてもまた、ちがったおいしさがある。  
4 ちょっとおなかがいすいたとき、食べたい分量だけその場で作って食べられる。  
5 塩とこしょうが味つけの基本だが、好みによってしょうゆを使うなどの工夫がしやすい。

〈やくそく〉

- 【メモ】の1～5のうち、べん当のおかずとしてすすめる理由になる感想を一つえらび、その中の言葉や文を使うこと。
- 前後の内うしろよつとながるように書くこと。
- 文末を「からです。」にすること。
- 四十文字から五十文字で書くこと。



第四学年「めあて」文章の要点や細かい点に注意しながら読もう。

③ 町田さんは、夏休みの家族旅行で東京都へ遊びに行く予定です。そこで東京スカイツリーについて調べて、夏休みの自由研究にすることにしました。町田さんが下調べのために読んでいる次の【文章】をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【文章】①から⑧は、だん落番号です。

- ① 東京スカイツリーは、高さが六百三十四メートルの自立式電波とうです。電波とうとは、「電波を送るせつびをそなえた」とうのことです。みなさんがテレビを見ることができるのは、電波とうが放送局からの電波を家まで送っているからなのです。
- ② これまで、東京やその近くに住んでいる人たちは、東京タワーから送られる電波を受信して、テレビを見ていました。
- ③ でも、東京の都心部では、次から次へと高いビルがたてられてしまったため、高さ三百三十三メートルの東京タワーでは、電波をすみずみまで送るのが、むずかしくなる可能性が出てきました。
- ④ それで、東京スカイツリーがけんせつされることになりました。ただ、その高さは、どうして六百三十四メートルなのでしょう。
- ⑤ 中国には、広州タワーという、最新の電波とうがあります。高さが六百メートルの、自立式電波とうです。
- ⑥ 東京スカイツリーをつくるとき、この広州タワーよりも高い、世界一の自立式電波とうを目指そうということになりました。
- ⑦ 今、スカイツリーがたっている場所は、昔「武蔵国」とよばれた地いきです。六百三十四という数字は、この「むさし」という言葉にちなんで決められたのです。

( ) (組) ( ) (番号前) ( )

⑧ 世界一高い自立式電波とうとして、世界じゅうの注目を集めつつ、昔ながらの日本のよさ、江戸のれきしなどもつたえていく場にしたいということとで六百三十四メートルになったのです。「634」とおぼえておけば、いつでも何メートルか、すぐに思いたせますね。

『なぜ? どうして? 身近なぎもん3年生』 三田大樹

問1 町田さんは、【文章】を読んで分かったことを【ノート】にまとめました。

【ノート】

- 東京スカイツリーの高さが六百三十四メートルになった理由
- スカイツリーがたっている場所の昔の名前(「武蔵国」)にちなんで。
- 広州タワーよりも高い、を指すため。
- イや江戸のれきしなどをつたえていく場にするため。

(1) 【ノート】の——部は、どのだん落を読んで分かったことですか。①から⑧のだん落番号の中から一つえらんで、その番号を書きましょう。

(2) 【ノート】の「ア・イ」の中に入る言葉を、【文章】の中からアは十一字、イは十字で書きぬきましょう。

ア	イ

問2 町田さんは、【文章】を読んでも分からなかった「自立式」の意味を「ずかん」を使って調べました。次の【ずかんの一部】を読んだ町田さんは、【文章】にある「電波とう」の意味と【ずかんの一部】にある「自立式」の意味を合わせて、自由研究の【分かったこと】を書きました。

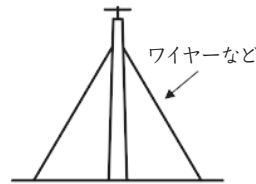
【ずかんの一部】

電波とうには「支線式」と「自立式」があります。

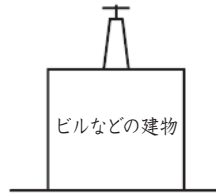
「支線式」のとうは、〈図1〉のように、とうがたおれないように、ワイヤーなどでささえられています。一方、「自立式」のとうは、地上に自分だけで立っています。

また、電波とうの中には、〈図2〉のように、ビルなどの建物の屋上に立っているものもあります。これを「ルーフトワー」といいます。

〈図1〉支線式電波とう



〈図2〉ルーフトワー



自立式電波とうとは、A とうのことです。

【分かったこと】のAの中に入る言葉を、【ずかんの一部】と【文章】の言葉を使って二十五字から三十字で書きましよう。


問3 町田さんは、夏休みの家族旅行で東京スカイツリーへ行った後、自由研究の【感想】を書きました。

【感想】

わたしは、夏休みの家族旅行で、はじめて東京スカイツリーへ行きました。そして、地上から四百五十メートルの高さにある天望回廊にのびりました。

天望回廊から東京を見下ろすと、ビルなどの建物がとても小さく見えました。こんなに高い東京スカイツリーだから、東京タワーではむずかしくなる可能性が出てきた、B ことがでるのだと思いました。

東京スカイツリーの高さに感動しました。

【感想】のBの中に入る言葉を、〈やくそく〉に合わせて書きましよう。

〈やくそく〉

- 東京タワーではむずかしくなる可能性が出てきたことを、【文章】から取り上げて書くこと。
- 三十字から四十字でまとめること。


第四学年「めあて」物語を読んで考えたことを話し合おう。

( ) (組) ( ) (番 名前) ( )

4 三島さんの学級では、国語の学習で「アップルパイたべてげんきになあれ」という物語をしようかというため、おもしろいと思うところを話し合っています。次の【物語の一部】と【話し合いの様子の一部】をよく読んで、あとの問いに答えましょう。(「、」などは字数に数えます。)

■物語のこれまでのあらすじ

おじいさんは、小さなケーキ屋でケーキを作って売っています。しかし、お客さんが少なくなってきたので、最近、おじいさんは店をしめようかと考え始めました。

【物語の一部】

ところが、秋もふかまった、ある夜。

ふしぎな男の子が、店にやってきたのです。

男の子は、ケーキをならべたケースのまえにたつと、からだをかがめて、きよろきよろしました。

「あつ、アップルパイがあった!」

「ぼうや、アップルパイを買いにきたのかい?」

おじいさんがたずねると、男の子は、「こんなことをいいました。

「アップルパイ、ほんのちよっぴりあじみさせてくれる?」

おじいさんは、「いっしゅん、きよとんとしました。

でも、すぐに、<sup>①</sup>きつと、この子は、あじみをしてから、買うつもりなのだろう」と、おもいました。

そこで、ケースから、アップルパイをとりだすと、ひと口きつて、お皿にのせ、男の子にさしだしました。

すると、男の子は、アップルパイにはなをちかづけて、くんくん、においをかぎました。

それから、口のなかにいれると、もぐもぐ口をうごかして、まんぞくしたように、大きくうなずきました。

「やっぱり、すごくおいしい!」

おじいさんは、そんな男の子を見ながら、顔をほころばせました。アップルパイは、ケーキのなかでも、おじいさんが、とくに、とくいなものなのです。さくさくのパイ生地きじのなかには、あまずっぱいリンゴがたっぷりはいっています。

<sup>②</sup>「じゃあ、これ、のこしてもしょうがないから、ごちそうしよう」おじいさんが、さつき、きつてのこした、アップルパイをだすと、男の子は、やったあとというように、かたをすくめて、りょうてをにぎりしめました。

そうして、アップルパイを、ゆっくりあじわうようにたべおわると、くちびるのまわりをなんどもなめました。

それから、おじいさんを、そんけいするような目で見上げると、「どうもごちそうさまでした」

と、頭をさげて、あつというまに、店からいなくなっていました。

<sup>③</sup>「あれっ、あじみしたただけでかえってしまった。見かけたことのない子どもだったけど、どこからきたんだろう?」

ひとりになると、おじいさんは、あきれてわらいました。

「アップルパイたべてげんきになあれ」もいちくみこ 茂市久美子

【話し合いの様子の一部】

三島 わたしがおもしろいと思ったのは、男の子とおじいさんとの間で考えがずれているところです。おじいさんは、男の子がアップルパイを **A** のだと考えます。一方、男の子はアップルパイを **B** しただけです。

白石 ぼくは三島さんとは反対に、二人が同じことを考えているところにおもしろさを感じました。おじいさんも男の子も、アップルパイがおいしいと考えているので、おたがいに心が通じ合ったのです。アップルパイがおいしいのは、作り方や



材料を工夫しているからです。このことは「C」に書かれています。そんなアップルパイの味を想ぞうするおもしろさもあります。

村山 わたしは、男の子の行動がおもしろいと思いました。おじいさんは「見かけたことのない子どもだったけど、どこからきたんだろう?」と言ってふしぎがっています。みなさんもおじいさんと同じように、「この男の子はだれて、いったい何をしたいの?」という疑問を持ちませんでしたか。

（話し合いが続く）

問1 【話し合いの様子の一部】のA・Bの中に入る言葉を、【物語の一部】の中からAは五字で、Bは三字で書きぬきましょう。

A


B


問2 【話し合いの様子の一部】のCの中に入る一文を、【物語の一部】からえらんで、はじめの五字を書きましよう。


問3 【話し合いの様子の一部】の……部には、どのようなねらいがありますか。そのねらいとして、もつともふさわしいものを、次のアからエまでの中から一つえらんで、その記号を書きましよう。

- ア 自分とはちがう考えを引き出そうとしている。
- イ 自分の考えに対して意見をもちめようとしている。
- ウ よく分からない言葉の意味を知ろうとしている。
- エ 考えのもととなる文を明らかにしようとしている。

--

問4 三島さんは、話し合いの後、【物語の一部】の……部①から

③をもとに、自分がおもしろいと思うところについてまとめた次の【しよかい文】を書きました。

【しよかい文】

おじいさんの言葉や心の声に注目すると、おじいさんの気持ちが分かります。

①からは、男の子がアップルパイを買うことを期待する気持ちが伝わってきます。しかし、②を言ったときのおじいさんは、男の子の言葉を聞いて、気持ちが変わって、ました。最後の③からは、アップルパイを買ってもらえなくて、おどろいて、あきれている気持ちが伝わってきます。

このように、おじいさんの気持ちが変わっていくところがおもしろいと思いました。

三島さんは【しよかい文】を読んで、……部について、おじいさんは、男の子のどの言葉を聞いて、どのような気持ちに変わったのか、くわしく書き直すことにしました。三島さんが書き直した言葉を、〈やくそく〉に合わせて書きましよう。

〈やくそく〉

○ おじいさんの気持ちを変えるきっかけとなった男の子の言葉を、【物語の一部】から取り上げること。

○ 取り上げた言葉を聞いて、どのような気持ちに変わったのか、分かるように書くこと。

○ 三十字から五十字で書くこと。


大問1～4の出題の趣旨、正答

① P 45・46

1 出題の趣旨

意見を出し合って話し合う場合、司会の役割を担う児童は、話し合いを円滑に進めるための工夫が必要である。また、話し合いに参加する児童は、理由や例を挙げながら筋道立てて意見を述べる必要がある。そこで、本問では、事例として自らの体験を挙げながら意見を述べることや司会として話し合いを進行すること、複数の意見をまとめることをねらいとする問題をそれぞれ出題した。

2 正答について

問1

○ 正答

エ

○ 解説

事例として自らの体験を挙げながら意見を述べる力を見る問題である。お父さんの言う「モチベーション」に対して、田中さんは「楽しさ」や「やる気」が言いかえとしてふさわしいかどうかを尋ねている。このことに着目して正答を選ぶ。(第3学年及び第4学年 話すこと・聞くこと イ)

問2

○ 正答

① エ

② イ

○ 解説

司会として話し合いを円滑に進行する力を見る問題である。①では、

「シェア」の意味を質問している。これによって、話し合いの参加者は、難しい言葉を正しく理解することができる。一方、②では、新しい道具や考え方などの具体例を挙げるように促している。これによって、話し合いの参加者は、小池さんの意見について身近なことから結びつけて判断することができる。それぞれの発言の役割をふまえて正答を選ぶ。(第3学年及び第4学年 話すこと・聞くこと エ・オ)

問3

○ 正答

(例) 田中さんは、言いたいことが伝わらないことがあるという理由をあげ、北川さんは、こまることがあるという理由をあげています。(五十九字)

○ 解説

複数の意見をまとめる力を見る問題である。〈やくそく〉に従って、田中さんと北川さんが理由を述べている箇所を探し、それらを字数に合わせてまとめる。また、【まとめ】の形式に着目して、「田中さんは、〜という理由をあげ、北川さんは、〜という理由をあげています」と書くことにも気づかせたい。(第3学年及び第4学年 話すこと・聞くこと イ・オ)

② P 47・48

1 出題の趣旨

報告・説明する文章などを書く場合、調べたことや自分の経験を生かして文章を書くことが求められる。また、文章の間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりすることも大切である。そこで、本問では、自己や他者の経験や意見をふまえて、文章を

まとめたり書き直したりする問題を出题した。

## 2 正答について

### 問1

○ 正答

イ

○ 解説

他者の意見をふまえて間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりする力を見る問題である。修正前の文章の第二文は、「特ちょうは」という主語に対して、述語が「作れます」となっていて、主語と述語が正しく照応していない。このことに注目して、イを選ぶ。

(第3学年及び第4学年 書くこと エ)

### 問2

○ 正答

ア

○ 解説

自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫する力を見る問題である。――部は、これよりあとで何を述べるか(「じゃがいものチーズ焼き」を「べん当の日」のおかずのメニューとして推薦する二つの理由)を明確にする役割を果たしている。このことに注目して、アを選ぶ。(第3学年及び第4学年 書くこと ウ)

### 問3

○ 正答

A 中火で七分

B はしでさしてみて、あなが開く

○ 解説

自分や他者の経験をふまえて書き直す力を見る問題である。【会

話の一部】の高木さんの発言の「ゆで方が足りなかったみたい」と、中田さんの発言の「はしでさしてみて、あなが開くまでゆでるといいよ」「中火で七分くらいかな」に着目して、**作り方**の2をどのように書き直すべきかを判断する。高木さんや中田さんの発言から、制限字数に合うよう抜き出す。(第3学年及び第4学年 書くこと ア)

### 問4

○ 正答(例) 作りたてがおいしいのはもちろんですが、冷めた

ときも、またちがったおいしさが味わえるからです。(四十六字)

○ 解説

自分や他者の経験に基づいて作った資料から、必要な情報を取り出し、条件に合わせて書く力を見る問題である。前後の内容から、空欄に入るのは「じゃがいものチーズ焼き」を「べん当の日」のおかずのメニューとして推薦する二つ目の理由であることが分かる。また、後の「作ってから時間がたって食べるべん当のおかず」から、「冷めても、ちがったおいしさがある」と主張している【メモ】の3に基づいて書けばよいと分かる。この内容をへやくそくに合わせて、前後のつながりを考えながらまとめる。(第3学年及び第4学年 書くこと ア・ウ)

[3] P 49・50

### 1 出題の趣旨

課題を解決するために調べるにあたっては、目的を意識して、本や文書を選んで読むことが求められる。その際、中心となる語や文をとらえながら読み、目的を意識して引用したり要約したりすることが大切である。そこで、本問では、文章の要点や細かい

点を読み取る問題と必要な情報を得るために関連する他の文章を読  
んでまとめる問題、目的に応じて文章を要約する問題を出题した。

## 2 正答について

問1

○ 正答

(1) ⑦

(2) ア 世界一の自立式電波とう

イ 昔ながらの日本のよさ

○ 解説

目的を意識して、中心となる語や文をとらえたり、文章の要点や  
細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したりする力を見る  
問題である。(1)は、「**ノート**」の——部に「スカイツリーがたつて  
いる場所」や「武蔵国」と書かれているので、⑦段落の内容である。  
(2)のイは、その前に「広州タワーよりも高い、」と書かれているので、  
⑥段落の内容である。一方、(2)のイは、「江戸のれきし」と並んで  
いるので、⑧段落の内容である。(第3学年及び第4学年 読むこ  
と ア・ウ)

問2

○ 正答

(1) (例) 地上に自分だけで立っていて、電波を送るせつびをそ  
なえた(二十七字)

○ 解説

必要な情報を得るために関連する他の文章を読んでまとめる問題  
である。「**ずかんの一部**」と「**文章**」の言葉を使って」という条件  
があるため、それぞれの文章から自立式電波とうの説明に当たる部  
分を探す。具体的には、「**ずかんの一部**」の「『自立式』のとうは、

地上に自分だけで立っています」が「自立式」の説明で、「**文章**  
の①段落の「電波とうとは、『電波を送るせつびをそなえた』と  
うのことです」が「電波とう」の説明である。この二箇所の言葉  
を「〜て、…」などの形でまとめ、**A** 直後の「とう」に  
つながるように書く。(第3学年及び第4学年 読むこと ウ)

問3

○ 正答

(例) 次から次へと高いビルがたてられてしまった東京の都心  
部で電波をすみずみまで送る(三十八字)

○ 解説

目的を意識して文章を要約する問題である。「やくそく」の「東  
京タワーではむずかしくなる可能性が出てきたこと」については、  
「**文章**」の③段落に書かれている。「東京の都心部では、次から次  
へと高いビルがたてられてしまった」と「電波をすみずみまで送  
る」とを意味が通じるようにまとめ、**B** 直後の「こと」  
につながるように書く。(第3学年及び第4学年 読むこと ア・  
ウ)

4 P 51・52

## 1 出題の趣旨

物語の解釈においては、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙  
述を基に捉えること、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像  
することが求められる。また、読んで理解したことに基づいて、感想  
や考えをもったり、共有したりすることで、読みは深まっていく。そ  
こで、本問では、想像の根拠となる叙述に気付かせる問題と交流に  
関する問題、叙述を基に登場人物の気持ちを想像する問題を出题した。



## 2 正答について

### 問1

#### ○ 正答

- A 買いにきた  
B あじみ

#### ○ 解説

想像の根拠となる叙述に気付かせる問題である。【話し合いの様子の一部】で、三島さんはおじいさんと男の子との間で考えがずれていることを指摘する。このずれの理由について書かれているのは、【物語の一部】の——部①までである。おじいさんの言葉と男の子の言葉のそれぞれから、三島さんの発言の根拠となる叙述を抜き出す。(第3学年及び第4学年 読むこと イ)

### 問2

#### ○ 正答

- さくさくの

#### ○ 解説

想像の根拠となる叙述に気付かせる問題である。【話し合いの様子の一部】のCの直前には「このこと」という指示語があり、指示内容は「アップルパイがおいしいのは、作り方や材料を工夫しているからです」である。したがって、アップルパイの作り方や材料について書かれている一文を抜き出す。自分の考えと根拠となる叙述とのつながりに注意させたい。(第3学年及び第4学年 読むこと イ)

### 問3

#### ○ 正答

- イ

#### ○ 解説

交流に関して、他者に意見を求める工夫について考えさせる問題である。【話し合いの様子の一部】の……部では、「みなさんも」というぎ問を持ちませんでしたか」と話合いの参加者に呼びかけている。このことよって、他者に思考を促し、自分の考えに對する意見を求めることができる。(第3学年及び第4学年 読むこと カ)

### 問4

#### ○ 正答

(例)「やっぱり、すごくおいしい!」という男の子の言葉を聞いて、とてもうれしい気持ちになりました。(四十七字)

#### ○ 解説

叙述を基に登場人物の気持ちの変化を想像する問題である。〈やくそく〉から、……部の「男の子の言葉」に当たる男の子の発言部分を【物語の一部】から抜き出す。また、……部の「気持ちが変わっていました」を「〜気持ちに変わりました」(「〜」には、「楽しい」「悲しい」など、気持ちを表す具体的な言葉が入る)などと書きかえる。【物語の一部】では、——部②の前に「おじいさんは、そんな男の子を見ながら、顔をほころばせました。」という一文があり、「顔をほころばせました」から「うれしい」「よろこんでいる」などの気持ちを読み取れる。また、「そんな」という指示語をもとに直前を見ると、「やっぱり、すごくおいしい!」という男の子の言葉があり、この言葉が取り上げるべき男の子の言葉だと分かる。様々な言語活動を通して、根拠となる叙述の適切さについて指導したい。(第3学年及び第4学年 読むこと エ)



第四学年「めあて」 相手が知りたいことに合わせて、分かりやすく話そう。

( ) (組) ( ) (番 名前) ( )

Ⅰ 山口さんは、駅で女の人から本屋への行き方をたずねられました。次の「二人の会話」をよく読み、「地図」を見て、あとの問いに答えましょう。

「二人の会話」

女の人 「すみません。この近くの本屋に行きたいのですが、どう行けばよいのでしょうか。」

山口さん 「この近くに本屋は二けんあります。『春風書店』と『青葉堂』です。どちらの本屋が分かりますか。」

女の人 「『青葉堂』です。」

山口さん 「この駅前の道をまっすぐ行って、交番のある交差点に出てください。交番の場所は分かるかな。」

女の人 「いいえ。この辺りは初めてで。この地図には、交番のついていないようなので。(と言って、地図を見せる。)」

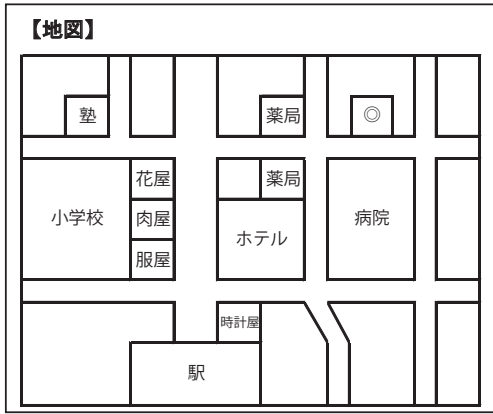
山口さん 「(地図を見ながら) 本当ですね。でも、花屋がのつていますね。交番は、この道をはさんで花屋の向かい側にあります。」

女の人 「ここですね。」

山口さん 「そうですね。この花屋のある交差点を右に曲がってください。一つ目の交

差点を少しすぎると、左手に『青葉堂』が見えてきます。」

女の人 「地図ではこの辺りですね。◎印をつけましょう。」



問1 山口さんは、どのように説明していますか。その説明の仕方として、もつともふさわしいものを、次のアからエまでの中から一つえらんで、その記号を書きましよう。

ア 花屋で買えるものについてくわしく説明している。

イ どのくらい時間がかかるかについて説明している。

ウ 二つの本屋のちがいを分かりやすく説明している。

エ 相手の分かることをたしかめた上で説明している。

問2 部で、山口さんは、ていねいな話し方をしています。

「二人の会話」の山口さんのほかの話し方や女の人の話し方を参考にして、十五字まででていねいな話し方に書きかえましよう。

--	--	--	--	--	--	--	--

問3 山口さんは、最後にもう一度『青葉堂』までの道順をかくにんしました。次の【かくにんの説明】の□の中に入る言葉を、「花屋」という言葉を使って、十五字までで書きましよう。

【かくにんの説明】

駅前の道をまっすぐ行って、□、一つ目の交差点を少しすぎたところの左手に『青葉堂』があります。

--	--	--	--	--	--	--	--

第四学年【めあて】さまざまな意見をもとに、お知らせを書こう。

( ) (組) ( ) (番) (名前) ( )

【2】図書委員会では、みんなが図書館をもっと利用するための方法をば集するために、意見箱をせっ置しました。次は、その意見箱によせられた【五つの意見】と、これらの意見をもとに図書委員の田中さんが書いた【まとめ】です。これらを読んで、あとの問いに答えましょう。

【五つの意見】

- 1 図書館のよさは、図書館をいつも利用している人が一番よく分かっている。だから、そんな人たちに、「図書館のすすめ」という文章を書いてもらって、みんなに配り、図書館のよさを伝えるといい。
- 2 人気本コーナーを作るのはどうでしょうか。人気本コーナーがあれば、これまで図書館をあまり利用しなかった人も、「人気本ってどんな本だろう。」と、本にきょう味を持ってくれるだろうと思います。
- 3 図書委員がそれぞれ自分のクラスで、読書の楽しさをみんなに伝えるスピーチをするとよいと思う。読書が楽しいと思う人がふえれば、図書館がもっと利用されるのではないか。
- 4 絵本などの読みやすい本をふやして、よく見えるところに置くとよいと思う。これまで図書館の本にきょう味がなかった人に、きょう味を持たせることができるだろう。
- 5 図書委員が作っている「図書館便り」が、少しかたくらいののでは？ もっとおもしろいものにするべきだ。そうしたら、図書館に親しみを感じる人がふえるだろう。すると、みんなもっと図書館を利用するようになる。

【まとめ】

みんなに図書館を利用してもらうには、まずは図書館を変える必要があると思います。楽しい図書館ならば、だれもが通いたくなるし、本にきょう味を持つ人もふえるはずですよ。それから、図書委員のわたしたちにもできることがあります。読書の楽しさをみんなに伝えるスピーチは、すぐにでも始められそうです。「図書館便り」が少しかたくらいという意見もあったので、次からどのような工夫ができるかを図書委員会で話し合いたいと思います。

問1 田中さんは、【まとめ】を読み直して、のだん落に例を加えた方がよいことに気づきました。その例としてふさわしい意見を【五つの意見】の中から二つえらんで、それぞれの番号を書きましよう。

問2 田中さんは、どのような工夫をして【まとめ】を書きましたか。その工夫として、どのようないいものを、次のアからエまでの中から一つえらんで、その記号を書きましよう。

- ア 読み手に問いかけて、新しい意見をもとめている。
- イ 本をしようかいして、読書の楽しさを伝えていく。
- ウ 自分の体験を例にして、分かりやすい説明をしている。
- エ 意見を仲間分けして、二つのだん落に分けて書いていく。

問3 図書委員会は、1と5の意見をもとにして、「図書館便り」に「図書館のすすめ」コーナーを作りました。そこで、「図書館のすすめ」の文章をば集する【お知らせ】を書きました。

【お知らせ】  
 図書委員会では、図書館をいつも利用するみなさんから文章をば集します。集まった文章は、「図書館便り」の「図書館のすすめ」コーナーでしようかいされます。文章を書きたい人は、図書委員に声をかけてください。

【お知らせ】の  部について、図書委員の川村さんは次のように言いました。

どのような文章をば集するのがよく分かりません。ための文章だということをはつきり書いた方がいいと思います。

に入る言葉を、【五つの意見】の中から十字で書きぬきましよう。


第四学年「めあて」「ずかん」などを使って、知りたいことを調べよう。

( ) (組) ( ) (番号前) ( )

③ 原田さんは、ペットのネコを観察かんさつしているとき、「どうしてネコの目は光るのか」と思いました。そこで、次の【読み物】を読んで、【読書カード】を書きました。これらをよく読んで、あと問いに答えましょう。

【読み物】①から③はだん落番号です。

①ネコの目が、くらいところでピカツと光るのを見たことがあると思います。人間の目は光らないのに、なぜでしょうか。  
 ②じつは、ネコの目には、人間の目にはない「タペタム」という、かがみのようなものがついているのです。  
 ③ネコのせんぞは、もともと昼間はのんびりして、夜になるとかきり出る生活をしていました。だから、くらくて光が少ないばしょでもはつきりと見えるように、タペタムで光をはねかえし、目にうつるものをより明るくして見られるようになっていいます。

『たのしい！科学のふしぎなぜ？どうして？2年生』村山哲也むらやまてつや  
 【読書カード】

ネコの目についている「タペタム」は、人間の目にはない【A】です。このタペタムで光をはねかえすから、ネコの目が光ります。

調べていくうちに、タペタムが光をはねかえすしくみを、さらさらしくわしく知りたくなりました。また、シカやフクロウは、ネコと同じように夜に動き回ります。これらの動物の目にもタペタムがついているのかどうか気がになりました。

問1 【読書カード】の【A】に入る言葉を、【読み物】から十字まで書きぬきましょう。


問2 原田さんは、【読書カード】の( )をさらに調べるために、次の『動物の体』と『動物ずかん』の二さつの本を使うことにしました。それぞれどのページから読み進めたらよいですか。『動物の体』の目次に書かれているページの番号を一つ、『動物ずかん』のさくいんに書かれているページの番号を二つえらんで、それぞれ書きましょう。

『動物の体』の目次

目次		
頭……………	5	毛…………… 90
目……………	23	手…………… 110
耳……………	35	足…………… 123
鼻……………	50	しっぽ…… 145
口……………	67	

『動物ずかん』のさくいん

さくいん	
カ <small>ちゅうりやく</small> ～ (中略) ～	ハ パンダ…… 134
サ サイ………… 111	ビーバー… 109
サル………… 4	ヒツジ…… 122
シカ………… 67	ヒョウ…… 75
シマウマ… 42	フクロウ… 176
～ (中略) ～	ブタ……… 25
	～ (続く) ～

問3

原田さんは、【読み物】を読んだ後、①から③のだん落の關係について、あることに気がつきました。原田さんが気がついたこととして、もつともふさわしいものを、次のアからエまでの中から一つえらんで、その記号を書きましよう。

- ア ①には、②の理由が書かれている。
- イ ②には、③例が書かれている。
- ウ ②には、①と反対の意見が書かれている。
- エ ③には、②のくわしい説明が書かれている。

--

第四学年「めあて」物語を読んで、登場人物の気持ちを想どようしよう。

( ) (組) ( ) (番 名前) ( )

④ 大森さんと小山さんは、国語の学習で「ねこがーぴきやってきた」という物語をしようかいるために、登場人物の気持ちが分かる部分をまとめています。次の【物語の一部】をよく読んで、あとの問いに答えましょう。「、」「。」「」は字数に数えること。

【物語の一部】

(春山さんの家に来てきたねこは、パパからケーキをもらいました。)

パパとミナミちゃんは、① ハグハグと、はないきあらくケーキを食べているねこをかこんで、しゃがみました。

「ねこちゃん、うちの子になるの?」

と、ミナミちゃんは心配そうにききました。

「こんなにおなががぺこぺこのねこは、かいねこじゃないだろうな。かわいそうに、ずいぶんよごれてる。かってほしくて、うちをのぞいていたんだな」

パパはミルクをもってきて、さらになみなみとつぎました。

「バフツ」

と、ねこはミルクにむせました。

「そんなにあわてなくても、だれもとりあげたりしないよ。ゆっくりおのみ」

「バフツバフツ」

ねこはそれでもむせかえり、② フギユフギユいって、かおじゅうミルクだらけになりました。

おなががいっぱいになると、ねこはかおをあらいい、よごれた手足もなめてきれいにしました。

③ ゆったりとあくびをし、しばふにまるくなって目をじましました。えんりよがちに手をだして、ミナミちゃんがまるい背中をなでました。

「ねこがーぴきやってきた」 広瀬寿子

問1 大森さんは、ねこの気持ちが分かる部分として——部①から

③を取り上げ、次のようにまとめました。

番号	ねこの様子	ねこの気持ち
①②	A の様子。	食べることしか考えられない。
③	ねむくなっていく様子。	B。

(1) A の中に入る言葉を、【物語の一部】から八字で書きぬきましょう。

-----

(2) B の中に入る言葉としてもっともふさわしいものを、次の

AからEまでの中から一つえらんで、その記号を書きましよう。

A こわがっている      I いらいらしている

ウ ほっとしている      E きんちようしている

問2 小山さんは、ミナミちゃんの気持ちが分かる部分として……

部を取り上げ、【物語の一部】のミナミちゃんの言葉や様子に注目して、次のように考えました。

ミナミちゃんは、ねこを C あげたいと思っているのかな。それから、ねこのことを D していたけれど、ねこがいねむりを始めたので安心したんだね。

C・D の中に入る言葉を、【物語の一部】からCは三字、Dは二字で書きぬきましよう。

C

-----

D

-----



第四学年「めあて」故事成語の意味を調べて、正しく使おう。

( ) 組 ( ) 番 名前 ( )

5 大木さんは、故事成語の意味を辞書で調べて、「カード」を作っています。「カード」①から③の「ア」から「ウ」に入る故事成語の意味や使い方の例として、もっともふさわしいものを、あとの1から3までの中からそれぞれ一つえらんで、その番号を書きましよう。

【カード】①

〔蛇足〕

◆意味…よけいなつけたし。

◆使い方…

- ア
- 1 全員が知っていることをあらためて説明するのは蛇足だ。
  - 2 心配しなくてよいことを心配するのは蛇足だ。
  - 3 万一のために前もって用意しておくのは蛇足だ。

【カード】②

〔漁夫の利〕

◆意味…

◆使い方…一等をねらう山田さんと川上さんがぶつかって転んだので、ぼくが一等になった。漁夫の利だったね。

- イ
- 1 いいかげんにおこなって、まちがいがたくさんあること。
  - 2 一度してしまったことは、取り返しがつかないこと。
  - 3 二人が争っているうちに、別の人がよい思いをすること。

【カード】③

〔切磋琢磨〕

◆意味…仲間同士がはげまし合って、おたがいに力をのばすこと。

◆使い方…

- ウ
- 1 切磋琢磨というように、古いことを学んで新しい考えにたどり着くのがよい。
  - 2 切磋琢磨というように、友だちといっしょに目標に向かっでがんばるのがよい。
  - 3 切磋琢磨というように、人から何度も話を聞くよりも自分で一度見るほうがよい。



第四学年【めあて】言葉の使い方に気をつけて、正しい文をつくらう。

( ) (組) ( ) (番 名前) ( )

6 言葉の使い方について、あとの問いに答えましょう。

問1 1と2の文で、の言葉がくわしくしている言葉はどれですか。アからエまでのの中からそれぞれ一つずつえらんで、その記号を書きましよう。

1 アわたしは、赤いイりんごをウ三つエ買った。

2 アわたしは、イきのう、おばあちゃんにウおかしをエもらいました。

問2 1から3までの文で、の言葉はあとの【はたらき】の  
ア・イ・ウのどれに当てはまりますか。それぞれ一つずつえらんで、その記号を書きましよう。

1 雲がゆっくり動いている。

2 あの人はわたしの姉です。

3 ぼくは大きい魚をつかまえた。

【はたらき】

ア どんな イ 何の ウ どのように

問3 大木さんは、【お知らせ】を書いた後、読み返して、①から③の文の……部と……部とのつながりが合っていないことに気づきました。①から③の文のそれぞれについて、……部はそのままにして、文の意味が変わらないように、文を正しく書き直しましよう。

【お知らせ】

学級委員からみなさんへお知らせがあります。①それは、学級文庫を大切にしていほしいです。

最近、学級文庫を大切にしない人がいるようです。②ある本のページは、大きくやぶってしまいました。また、別の本は、表紙がなくなってしまうました。③わたしは、このようなことが続くのは問題です。

学級文庫は、学級のみなさんが本に親しむためにあります。これからは学級文庫の使い方に気をつけましよう。

①それは、

②ある本のページは、

③わたしは、

小問①～⑥の正答

【話すこと・聞くこと】

① 正答 P 57

問1 エ

問2 (例) 交番の場所は分かりますか。(十三字)

問3 (例) 花屋のある交差点を右に曲がり(十四字)

【書くこと】

② 正答 P 58

問1 2・4

問2 エ

問3 図書館のよさを伝える

【読むこと】

③ 正答 P 59

問1 かがみのようなもの(九字)

問2 『動物の体』 23 『動物ずかん』 67  
176

問3 エ

【読むこと】

④ 正答 P 60

問1 (1) おなかがぺこぺこ (2) ウ

問2 C かって D 心配

【我が国の言語文化に関する事項】

⑤ 正答 P 61

ア 1 イ 3 ウ 2

解説 ア 2は「杞憂」の使い方である。

イ 3は「備えあれば憂いなし」の使い方である。

ウ 1は「杜撰」の意味である。

2は「覆水盆に返らず」の意味である。

3は「温故知新」の使い方である。

3は「百聞は一見に如かず」の使い方である。

【言語の特徴や使い方に関する事項】

⑥ 正答 P 62

問1 1 イ 2 エ

問2 1 ウ 2 イ 3 ア

問3 ①(例) それは、学級文庫を大切にしてほしいということです。

②(例) ある本のページは、大きくやぶれていました。

④(例) わたしは、このようなことが続くのは問題だと思っています。